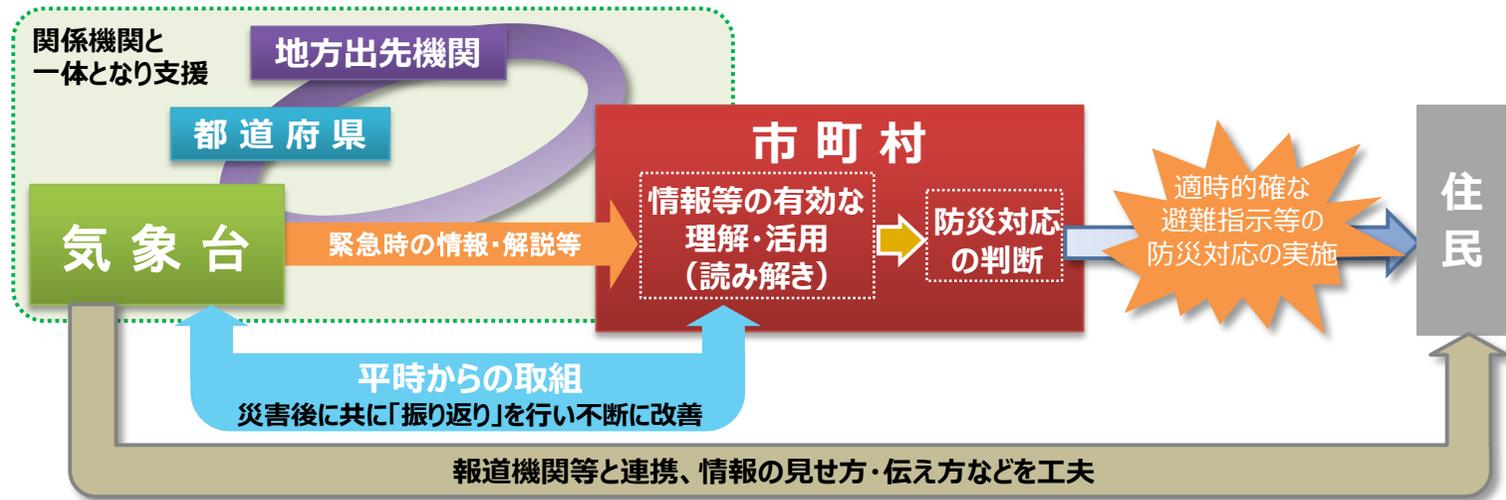


地域防災支援業務の取組状況について

気象庁

地域防災支援業務の取組状況について

自治体や地域住民に**防災気象情報を理解・活用**いただくため、災害時・平時ともに様々な取組を推進。



「地域における気象防災業務のあり方検討会」報告書において示したイメージ図を一部加工

災害時における取組

- ★ 気象、地震解説等のため積極的にJETT（気象庁防災対応支援チーム）を派遣。
- ★ 災害応急活動等を支援することを目的に**災害時気象支援資料**を提供。
 - 気象台長から市町村長へ直接電話で避難指示等に関する助言を行うほか、市町村側からの求めに応じて助言を行う**ホットライン**を実施。
 - 県内市町村を**オンライン会議システム等**により**まとめて繋ぎ**、今後の気象の見通しを説明。
- ★ は既に消防機関とも連携しているもの



石川県災害対策本部会議
(令和6年能登半島地震)



石川県消防防災航空隊へのヒアリング
(令和6年能登半島地震)

平時における取組

- ★ 防災気象情報に基づく避難指示発令の判断を疑似体験することができる、自治体向けの**気象防災ワークショップ**を開催。
- ★ 地方公共団体等が行う防災訓練に参加し、**シナリオ作成等に協力**。
- ★ 消防職員初任教育等における**講義・講演**を実施。
 - 気象台による首長訪問、「**あなたの町の予報官**」の編成等により、平時から市町村との“顔の見える関係”を構築。
- ★ は既に消防機関とも連携しているもの



気象台による首長訪問



自治体向け気象防災ワークショップ